

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|----------|------------------|---|--|---|---|----|
| Rel.7.0a | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加 | 以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ 8.0 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | | |
| | 瞬間復元ドライブ | Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまう場合がある。 | 修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください) | |
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから至急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後も表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | 「\$scrap\$ @&%」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | レジストリのパスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 画像を大量に貼り付けてあるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合がある。 | 特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | クライアント機能 | Windows Vistaに瞬快クライアントをインストールした環境で、Windowsに異常が発生した場合、スタートアップ修復が自動的に動作し、ファイルやレジストリが消失する現象が発生する場合があります。 | Windows Vistaに瞬快クライアントをインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作しないように設定を変更しました。 瞬快クライアントをアンインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作する設定になります。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード ※OSがVistaの場合のみ | なし | |
| | クライアント機能 | 修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスパナアイコンが青色になる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | 一度Windowsからログオフして、再度ログオンしてください | |
| | サーバ機能 | 瞬快サーバをインストールしたコンピュータに対して「Windows Update」または「Microsoft Update」を実行すると「KB948109」の適用に失敗します。 | マイクロソフト社より公開されているセキュリティ更新プログラム「KB948109」の問題を回避するロジックを組み込みました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | 「KB948109」の問題を回避するための修正モジュールを弊社で用意しております。 | |
| | リモート画面操作機能 | クライアントPC側でモニタリングされていないにも関わらず、「モニタリング中」と書かれたステータスウィンドウが表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | Windows Update連携 | Windows Update連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフト社などのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらい。 | 実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 同時に100台を超えるような多台数へのディスクイメージ配信処理において、マルチキャスト配信処理終了直後にエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | 多台数のクライアントに対してマルチキャスト配信を実施する場合は、一度に配信するクライアント台数を70台程度に抑え、数回に分けて配信を実施してください。 | |
| | 利用情報収集機能 | 修復無効モードの瞬快クライアントがインストールされたPCのディスクイメージを取得し、別マシンに配信した場合に、配信先のクライアントPCで利用情報収集機能の電源オン・オフのイベントが取得できない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | 瞬快クライアントは、ディスクイメージに含めず、配信時の後処理のクライアントインストールで行ってください。 | |
| Rel.7.0b | vPro連携機能 | 機能追加 | vPro連携機能を新たに搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能追加 | クライアントPCから管理側へのファイルをコピーする「ファイル回収機能」を新たに搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能追加 | モニタリングしているクライアントPCにログオンしているユーザーアカウントを一覧で表示する「ログオンアカウント一覧」を新たに搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能改善 | 以前のバージョン (Rel.5.0系/Rel.6.0系) の瞬快リモート画面操作クライアントをモニタリング/遠隔操作できるように対応しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能改善 | リモート画面操作機能でクライアントPCのキーマウスロックやブラックアウトをした状態で管理コンソールを終了させようとする、解除するかの確認画面が表示されるように機能改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | | |
| | 資源配付 | 機能追加 | 台帳機能を新たに搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | | |

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|----------|------------------|---|--|---|--|--------------------------------------|
| | 資源配付 | 機能改善 | 資源配付後にクライアントPCの電源をOFFにした状態で完了する機能を追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | | |
| | 瞬間復元ドライバ | Windowsのフォルダダイレクト機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、フォルダダイレクト機能が正常動作しない。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | 復元タイプをパーティション単位にして運用してください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | Windowsのオフラインファイル機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、オフラインファイル機能が正常動作しない。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | 復元タイプをパーティション単位にして運用してください。 | |
| | クライアント機能 | タスクトレイのスナナアイコンの色が異なるモードを示す色になる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | タスクトレイのスナナアイコンを右クリックすると、正しい色になります。 | |
| | クライアント機能 | 瞬快クライアントがインストールされたPCのファイルシステム異常を検知したときの動作を変更しました。 | PCの強制シャットダウンなどが原因でファイルシステムの異常を検知した場合、これまでは警告メッセージを表示するとともに、タスクトレイのスナナアイコンを赤色にしていますが、警告メッセージの表示のみとしました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 資源配付機能 | 資源配付機能による、クライアントPCでの資源受信中は、誤操作防止のためキーボードとマウスが動作しないようにロックをかけているが、このときにスクリーンセーバーが動作すると解除できなくなってしまう。 | クライアントPCでの資源受信中は、スクリーンセーバーが動作しないようにプログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | Ctrl+Alt+Delキーを押すと、スクリーンセーバーを解除できます。 | |
| | 資源配付機能 | 資源配付機能のテスト配付にて、クライアントPC側における適用/解除操作を行った後、瞬快の動作モードが配付前の動作モードに戻らないまま終了してしまふ。 | テスト配付の適用や解除を行った場合は、必ず配付前の動作モードに戻るようにプログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能で、「マルチブートグループへコピー」の機能を使ってコピーしたクライアントPCが消える場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | Linuxグループへコピーする場合に、Windowsと同名のコンピュータ名でコピーしないでください。 | |
| | Windows Update連携 | Windows Firewallのサービスを「無効」にしたWindows Server2008またはWindows Vistaに瞬快サーバをインストールし、瞬快のWindows Update連携を行うと、クライアントPCでWindows Updateが開始されない。 ※サービスを無効にするとは、コントロールパネルの「Windowsファイアウォール」で無効にするのではなく、管理ツール内のサービスから「Windows Firewall」のサービスを無効にした場合です。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | 管理ツール内のサービスから「Windows Firewall」のサービスを無効にせず、コントロールパネルの「Windowsファイアウォール」で無効にして、Windows Update連携を行ってください。 | |
| | 利用情報収集機能 | 利用情報収集機能で、クライアントPCからイベント情報がアップロードできない状態になってしまう場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | 瞬快クライアントを再インストールしてください。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能の電源ON機能で、IPアドレスが空のクライアントPCに対して電源ONをすると失敗する。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | クライアントPCのIPアドレスが正しく入力された状態で電源ONを行ってください。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能でリモート操作中に管理コンソールが起動しているPCのキーボードからCtrl+Alt+Delを押下すると、モニタリングされているクライアントPC側のキーボード操作が正しく動作しない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | クライアントPCを再起動してください。 | |
| | リモート画面操作機能 | (株)高知システム開発社製のPC-TalkerがインストールされたWindows Vistaに瞬快クライアントをインストールし「点字キーモード」にすると、キーボードの操作ができなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード | 瞬快クライアントをインストールする場合に、リモート画面操作クライアントの機能をインストールしないでください。 | |
| Rel.7.0c | インストーラ共通 | 制限解除 | 以下のOSをサポート対象OSに追加しました。 ・Windows Vista SP2 ・Windows Server 2008 SP2 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | Rel.7.0bではWindows Vista SP2およびWindows Server 2008 SP2での動作を確認しています。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 制限解除 | 瞬快クライアントをインストールしたWindows Vistaで、修復モード中にスリープにならない制限を解除しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | ハイブリッドスリープおよび休止状態には対応しておりません。 |
| | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加 | 以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・ESET NOD32アンチウイルス V4.0 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | ESET Smart Security V4.0には対応しておりません。 |
| | 管理機能 | 機能追加 | 瞬快管理機能にて、コンピュータ名によるクライアントPCの検索機能を搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|-------|------------|--|---|---|---|----|
| | 管理機能 | 機能追加 | 瞬快管理機能に「クライアント情報の一括追加」機能を追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 資源配付 | 機能追加 | 特定のクライアントへはレジストリ登録や前処理/後処理といった処理を実行しない機能を実装しました。 NoJAProgramExecute.flg → 配付のみ行う NoJARunBeAf.flg → 前処理/後処理を省く NoJARunRegist.flg → レジストリ処理を省く | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | 機能追加 | 資源配付管理機能の画面下にステータスバーを追加し、クライアントPCの各状態の台数を表示させるように機能改善しました。 【表示例】 全台:○○台、適用完:○○台、適用失敗:○○台、その他:○○台 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | その他 | 機能追加 | 瞬快にてマルチブート設定をしたとき、クライアントPCに表示されるOS選択画面で、特定のOSを非表示にさせられる機能を追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | Windows Vistaに瞬快クライアントをインストールした環境において、OS起動時に「Windows Boot Manager」という画面が表示されて、OSが起動できなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | Windows Vistaのスタートアップ修復を実行し、OSの起動に関する問題を修復することで、Windows Vistaが起動できるようになります。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、Internet Explorer6でファイルのダウンロードに失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードで動作させている場合に、ジャンプメディアシステム株式会社のWeb会議システムLiveOnを使用すると、ActiveXコントロールのインストールに失敗してしまう。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | "C:\WINDOWS\FDownloaded Program Files"を対象外にすることで回避できます。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、ファイルの作成と削除を数回以上繰り返すと、次回OS再起動直後のディスクアクセスが多くなり、一定時間フリーズしたような状態になる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | ファイルシステムの異常を検知する機能において、異常ではない場合に異常と誤検知する場合があった。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、0x0000007fのSTOPエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | サーバ機能 | 瞬快サーバをインストールしたPCを起動したとき、「Syunkai Server」のサービスが起動されていない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | Windowsにログオン後に「Syunkai Server」のサービスを起動させてください。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能のファイル回収機能において、回収ボックスにファイルをドラッグ&ドロップしても、回収ボックスのリストに表示されない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | 一度回収ボックスを閉じて、再度回収ボックスを開くと表示されます。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能を起動すると以下のメッセージが表示され、一部のクライアントPCが操作対象の一覧に表示されない場合がある。 「クライアント定義ファイルの読み込みに失敗しました。文字列の終わりに、追加の解析できない文字がありました。」 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作管理機能の、ウィンドウの最大化/最小化/クローズボタンをクリックすると、数秒間マウスやキーボードの操作を受け付けなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作クライアントをインストールしたWindows XPおよびWindows Server 2003のPCを数日間ログオンの状態で放置した場合、OSがハングアップする場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | ログオフやOSの再起動を数日以内にすれば回避できます。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能のグループ選択画面を表示する場合に、登録されているクライアントPCの台数が多いと、表示されるまでに数十秒の時間を要する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 利用情報収集機能 | 瞬快クライアントをインストールしたPCに、情報の取得ができないドライブが存在した場合、利用情報収集機能で情報の収集ができなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 複数のLANカードが搭載されているPCにシステムリカバリサーバをインストールして、イメージ取得や配信を行うと失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|----------|--------------|--|--|---|--|----|
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能でイメージ配信またはWindows環境の設定のサービスを実行した場合に、「異なるOSからのリクエストが発行されました」というエラーが発生し、処理が止まる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 富士通製のFMV-D5370に対しイメージ配信を行った場合、配信途中で処理が停止し、ピーブ音が鳴る場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | vPro連携機能 | 瞬快管理機能に搭載されている、vPro電源制御の「電源ON」、「電源OFF」、「リセット(再起動)」の機能を、TCP/IP設定が「DHCP」のグループに実行すると、異なるクライアントPCに対して実行してしまう場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | vPro連携機能 | vProのインベントリ収集ツール(UseInfoRm.exe)が動作しない。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並 上 | 製品CD-ROMのTOOLフォルダ内にある次のファイルを、瞬快サーババイナリフォルダのPRG内にコピーすれば動作します。 BkAnalyzeCmdLine.dll | |
| | vPro連携機能 | IPv6を使用する設定を有効にしたWindows VistaまたはWindows Server 2008でvProのインベントリ収集ツール(UseInfoRm.exe)を実行すると、プログラムが異常終了する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | OSの設定で、IPv6を使用しないように変更してください。 | |
| | vPro連携機能 | 瞬快管理機能の「vPro設定情報のインポート」を行う場合の入力値チェックにて、正しくチェックできない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | vPro連携機能 | 瞬快管理機能に搭載されている、vPro電源制御の機能を、TCP/IP設定が「DHCP」のグループに実行すると、通信に失敗し処理が実行できない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 資源配付 | 多くの台数のクライアントPCに対して、資源配付指示を出すと、配付指示に失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | 資源配付管理機能のクライアントPC一覧でPCを選択した状態で配付指示画面を開くと意図しないクライアントPCが選択されている場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | 資源配付機能でフォルダ差分配付方式の配付リソースを登録した場合に、ファイルをNTFS上で同じとみなされるようなファイル名(例:a.txtとA.TXT)に変更した後でファイル更新を行うと正しい版数が配付できなくなる。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | 資源配付の配付リソース更新もしくは資源ファイル更新処理を実施した際、更新対象ファイルの候補に以下のようなファイルが含まれる場合、同一ファイルとして扱われ、ファイル更新確認画面に遷移した際にエラーが発生する。 【例】 アレルギー.xls アレルキ一.xls | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | Updateキャッチャー | Updateキャッチャーの画面が文字化けしてしまう場合がある。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0b以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| Rel.7.0e | 運用環境 | 制限解除 | 以下のOSをサポート対象OSに追加しました。 ・Windows Server 2008 R2 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加 | 以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・ウイルスバスターコーポレートエディション 10.0 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | 管理機能 | 機能追加 | 瞬快管理機能で接続するサーバを指定する際に、過去に接続したサーバの履歴から選択できるように機能追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | システムリカバリ機能 | 機能追加 | MAK認証されたWindows Vistaのディスクイメージを取得し、ディスクイメージ配信時にKMS認証に切り替える機能を追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | | |
| | 瞬間復元ドライブ | 機能改善 | ファイル・フォルダ単位の修復モード時にOSの起動に要する時間を短縮するアプリロード機能を搭載しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|-------|-----------------|---|---|---|--|----|
| | クライアント機能 | 機能改善 | 瞬快クライアントの動作モードが修復無効モードの状態、動作モードを変えずに環境設定ができるようになりました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | 管理機能 | 機能改善 | 管理機能からのインポート、エクスポートの機能に、システムリカバリ機能固有の情報もインポート、エクスポートできるように機能改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | システムリカバリ機能 | 機能改善 | サービス名の変名ができるように機能改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | | |
| | システムリカバリ機能 | 機能改善 | サービスをフォルダに分けて管理できるように機能改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能改善 | 複数PC操作における、操作対象端末選択画面で、クライアントPCを選択しやすいうに改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | リモート画面操作機能 | 機能改善 | リモート画面操作のファイルコピー機能においてコピー速度を向上しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | | |
| | 瞬間復元ドライバ | Windows VistaにSymantec Endpoint Protection 11.0 RU5と瞬快クライアントをインストールしたPCで0x7fのブルースクリーンが発生する場合があります。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | Symantec Endpoint Protection 11.0 MR4以前では発生しません。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 復元タイプがファイル・フォルダ単位、動作モードが修復モードの場合に、0x50、0x8eのSTOPエラーが発生する場合があります。 | 回避ロジックを組み込みました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 修復対象外設定に同じ名前のファイル名とフォルダ名を指定すると修復対象外を誤認識する場合があります。 例:以下のように同じ名前のファイルとフォルダを修復対象外に設定する場合。 C:\YDATA ←ファイルの対象外 C:\YDATA\F ←フォルダの対象外 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 復元タイプがパーティション単位の場合に、PCの電源を入れてからOSの起動が始まるまで時間を要することがある。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能で「クライアント情報を自動更新する」を有効にした場合、瞬快管理機能がアプリケーションエラーで終了する場合があります。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | サーバ機能 | OS起動時に、瞬快サーバのサービスが起動しない場合があります。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | WindowsUpdate連携 | マルチコアまたはマルチCPUを搭載したPCに瞬快サーバをインストールし、WindowsUpdate連携を実行すると、WindowsUpdate連携が異常終了する場合があります。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | WindowsUpdate連携 | DNSやWINS等の名前解決環境がなく、ブロードキャストにおいてのみ名前解決が可能で、かつクライアントPCの使用するIPアドレスが頻繁に変更されるようなネットワーク環境の場合、Windows Update連携を実行すると、エラーが発生しWindows Update連携が正常に動作しない場合があります。 | プログラムを改修しました | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 資源配付 | 資源配付機能で、配付リソースの登録を行う際にショートカットファイルを指定して登録すると、ショートカットのリンク先ファイルが登録され、ショートカット自体の登録ができない。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | フォルダの差分配付において差分抽出に時間がかかる場合があります。 | フォルダ差分配付の差分抽出処理を見直し速度改善を図りました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 資源配付 | サーバ側でファイルが壊れている場合に資源適用処理が停止しない場合があります。 | サーバ側のファイル破損など異常が発生している場合には、クライアントの資源適用処理を異常としてメッセージを表示し終了するように改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|----------|--------------------|---|--|---|---|----|
| | 資源配付 | 無線LAN環境下で電波状況が悪い場合、資源配付処理がフリーズする場合があります。 | 無線LAN環境下で電波状況が悪い場合の通信処理を見直しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 以下の条件をすべて満たす場合に、システムリカバリ機能でのPXEブートに失敗してしまい、ディスクイメージ取得/配信/クライアントPCのリモート登録などができない場合があります。 ・Windows Server 2008(64bit版)にシステムリカバリサーバをインストールしている。 ・DHCPサーバと同居している。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | ネットワークの設定でDNSを固定設定したクライアントPCを雛型にしてディスクイメージを取得し、DHCPグループに属するクライアントPCにディスクイメージ配信した場合、配信後にDNSが固定設定のままになる場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能の環境設定Wizardより、ディスクイメージの登録を行うときに「既に同名のリソースが存在します」と表示されて登録できない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | 別の名前でリソースの登録を行ってください。 | |
| | 利用情報収集機能 | 利用情報収集機能でクライアントPCからの情報がアップロードできなくなる場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 利用情報収集機能 | 利用情報収集機能で取得をしているPCの起動時刻/終了時刻の情報が、瞬快クライアントのレベルアップ、バージョンアップを行うことで取得できなくなる場合がまれにある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0c以前 【グレード】 全グレード | 瞬快クライアントを再インストールしてください。 | |
| Rel.7.0g | ツール機能 | 機能追加 | クライアントPCに対してメッセージ通知を行うコマンド「RPMSG.EXE」をTOOLフォルダ内に新規追加しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | Linuxクライアント機能 | 機能追加 | Linuxの下記ディストリビューションに対応しました。 ・Cent OS 5.5 ・Fedora 13 ・Vine Linux 5.1 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | リモート画面操作機能 | 機能改善 | 単一PC操作の操作メニューのウィンドウの形式を、バー表示も選択できるように改善しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | Windows VistaのInternet ExplorerからEPSON社製のレーザープリンタに対し印刷を行うと、印刷ができない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | 以下のいずれかを行うことで回避可能です。 ・C:\ProgramData\EPSON\tempを対象外にする ・UACを無効にする ・Internet Explorerの保護モードを無効にする | |
| | 瞬間復元ドライバ | インテル社のAtomプロセッサを搭載したPCに瞬快をパーティション単位の修復モードでインストールすると、OSの起動前に黒い画面で数十秒から1分程度待たされる現象が発生する。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールすると、Cygwinが正常に動作しない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした場合、PCのシャットダウン時に0x7eのブルースクリーンが発生する場合があります。 | 回避ロジックを組み込みました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした場合、DisplayLink社のドライバを使用したUSBディスプレイアダプタが正常に動作しない場合があります。 【製品例】 ・IO-DATA製 USB-RGB/D2 ・パッファロー製 GX-DVI/U2 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールしたPCから、別のPCで共有されているフォルダ内のファイルが変名できない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | クライアント機能 | 瞬快クライアントをインストールしたPCをシャットダウンするタイミングで、Syunkai Clientのサービスがアプリケーションエラーを出す場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | Windows Update連携機能 | Windows Update連携を実行するクライアントPCにおいて、Automatic UpdatesサービスまたはWindows Updateサービスの起動に20秒以上の時間を要する環境の場合にエラーが発生し、Windows Update連携の処理が失敗する場合があります。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |

| 製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|----------|-------------------|---|--|---|--|--|
| | 資源配付機能 | 配付リソースの登録にてショートカットファイルが指定して登録すると、ショートカットのリンク先のファイルが登録されてしまい、ショートカットファイル自体が登録できない。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上 | なし | |
| | 利用情報収集機能 | クライアントPCからの情報がサーバにまったくアップロードできない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 利用情報収集機能 | 瞬快クライアントのレベルアップ、バージョンアップを行うと、利用情報収集機能で取得しているPCの起動時刻/終了時刻の情報が取得できなく場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 利用情報収集機能 | イベント削除処理において、削除対象の件数が10万件以上になるとイベント削除に失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | 利用情報収集機能 | 集計処理に失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | システムリカバリ機能 | FMV-D5390のディスクイメージ取得/配信ができない。 | FMV-D5390用のLANDライバを製品に組み込みました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | Windows環境の設定や、イメージ配信の後処理でクライアント側の処理が停止する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0e以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | なし | |
| Rel.7.0i | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアントがファイルフォルダの修復モードでインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x0000007f 0x00000050 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | リモート画面操作機能 | デュアルディスプレイのPCをリモート画面操作機能を使ってモニタリングや遠隔操作を行うおとした場合、2台のディスプレイの解像度が異なると、画面崩れたりマウスでの操作が正しく行えない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード | デュアルディスプレイのPCをモニタリングや遠隔操作を行う場合は、2台のディスプレイの解像度を合わせてください。 | デュアルディスプレイのPCをモニタリングや遠隔操作を行う場合、対象となるのは、プライマリのディスプレイのみです。プライマリではないディスプレイは対象外です。 |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能の複数PC操作にて、メインモニタウィンドウからマウスカーソルが外に出られなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード | 複数PC操作の接続を切断して、再接続を行ってください。 | |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作クライアントをインストールしたPCを、ログオンした状態で数週間連続で稼働させた場合に、システムリソース不足が発生し、OSの再起動が必要となる場合がある | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows XP Windows Server 2003 | 定期的ログオフをすると問題は発生しません。 | |
| | WindowsUpdate連携機能 | WindowsUpdate連携機能において「更新プログラムを構成しています(1/3)」のメッセージが表示されてOSが再起動を繰り返す現象が発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows Vista | 現象が発生してしまった場合には、OS起動時にPageUpキーを押して簡易環境設定画面を表示させ、修復無効モードへ切り替えを行うことで、再起動を止めることができます。 | |
| | WindowsUpdate連携機能 | OSの持つWindows Updateサービスの開始に20秒以上を要するPCで、WindowsUpdate連携機能を実行すると「予測不可能なエラーが発生しました。(ErrorCode = 174)」のエラーにて失敗する場合がある。 | OSの持つWindows Updateサービスの開始が遅い場合を考慮したロジックに修正しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 全グレード | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 瞬快管理機能起動時に問われる、システムリカバリサーバへ接続する際の認証ダイアログで、ユーザ名やパスワードに入力できる文字数が少ないため、認証できない場合がある。 | 最大入力文字数を拡張しました。 ・ユーザ名→256文字 ・パスワード→128文字 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | システムリカバリユーザのアカウント名とパスワードを短くしてください。 | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能で作成したイメージ配信サービスの名前を変更して配信を行うと、「指定したファイルが見つかりませんでした。」というエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | 【レベル】 Rel.7.0g以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上 | ユーザ指定処理が無いサービスであれば問題は発生しません。 | |